

小田原

広

報

まちづくり情報誌

2000 1 月号
/1

平成12年1月1日発行
No.762

始まりはいつも、
ドラマチック。

2000

「まちづくりは人づくり」



いよいよ幕を開けた西暦2000年のミレニアム(千年紀)1000年にたった1度という、この特別な年を記念して行われた、市長・議長・新成人による夢の座談会
さて、どんな話が飛び出したのでしょうか

市長 あけましておめでとうございませう。

いよいよ2000年。なにか、胸に込み上げるものがありますね。今日は、1000年間待ち続けた特別な座談会です。(笑)

未来に向かっての期待を込めた楽しいお話をしましょう。

議長 あけましておめでとうございませう。

この記念すべき年に新成人になれるフレッシュな方のお話を聞けるということでも楽しみですね。

私の2000年のテーマはこう

市長 早速ですが、新成人の皆さんは、2000年を迎えての、なにか目標みたいなものはありますか。

窪田 私は10月に20歳になりました。今、改めて思うことは、「自分がどんな人間で、これからどんな人生を歩んでいきたいのか、真剣に考えたことがなかった」ということです。2000年を機に、将来の仕事も含めて自分自身を見つめ直していきたいと思えます。

秋沢 私は、現在、大学で農業について勉強しています。将来は農業をやりたいと考えています。父も農業をやっています。仕事に誇りを持っています。農業という、「つらい」とか「たいへん」というイメージがありますが、本当はともやりのある素晴らしい仕事です。近いうちに、アジア



広報おだわら
2000年
ミレニアム企画

おざわよしあき
小澤良明市長

座談会後の一言

「21世紀に彼らが安心して暮らせるよなまちを残してあげたい。元気で明るいまちを作りたいですね」

とアフリカの農業を体験してきます。自分にどんな新しいことができるか、挑戦してみたいです。

松蔭 私は、ダンスの学校に通っています。人と接するのがとても好きなんです。よく「高齢化社会がやってきた」って、何か悪いことのように言われていますけど、この社会を作ってくれたのは、今のお年寄りの方ですよね。だからお年寄りは大事にしないといけない。私はダンスを通じて、皆を楽ませてあげたいと思います。

今どきの若いもんは

市長 皆さん、素晴らしい目標をお持ちです



ね。学生の特権を利用して、どんどん勉強してもらいたいと思います。ところで、議長さんは、どんな新成人だったのですか。

議長 私が成人式を迎えたのは昭和39年。いろいろやりました。同じ年代の青年団の人達と、興味のあることは何でも率先してやりました。楽しかったですね。そういえば、当時は「今どきの若いもんは」なんてよく言われました。今では、私たちの世代が若い人達に使っています。いつの時代も変わらないものですね。今にして思えば、「良くなつて欲しい、自分の理想に向かつて欲しい」という期待を込めて使っている言葉だと思います。

皆さんは、私たちの世代についてどう思いますか。親についても結構です。

秋沢 私は父をカッコいいと思います。小さいころは、畑仕事は好きではなかったですけど。(笑)

松蔭 父は、ボーイスカウトの活動をやっていました。気がつくと、私もガールスカウトに入っていました。父は、とても優しく、どこに行くにも車で私を連れて行ってくれたのを覚えています。母は、いい意味で、付かず離れずって感じですね。仲いいですよ。

窪田 私の家は、両親が共働きですが、大家族でとても楽しいです。私が悩んでいるときに、最初に気づいてくれるのはいつも祖父です。

市長 私は大学を卒業して、すぐに独立し事業を興しました。そして27歳で市議会議員になったんです。それからまじまじと一筋に30年間突っ走ってきました。忙しい毎日ですが、子供には、「オレの後ろ姿を見てくれ」と心の中で言い続けてきましたね。父親として尊敬されているのかな、と不安になるときもありませんが、これでも結構言うことは聞いてくれるんですよ。(笑)

議長 私も同じですね。一生懸命頑張っている私を見て欲しい。子供たちには思うように生きて欲しいのです。やりたいことがあれば、

宇宙へ行ってもいいからやってみなさい、と言いたい。

小田原ってこんなまち

市長 ところで、新成人の皆さんにとって、小田原ってどんなまちですか。

松蔭 新幹線やロマンスカーなども停まるし、交通の便がいいところですね。もっと多くの人に小田原を見てもらいたいです。

窪田 私は箱根駅伝が大好きなので、小田原に生まれたことを感謝しています。(笑)でも、道路の段差やスロープなど、障害者に配慮した道路が少ないことがちょっと気にかかります。

秋沢 自然に恵まれていると思います。この自然をもっとアピールしたいですね。また、1年中イベントがあると思います。

これからの1000年のまちづくり、私はこう考える

議長 私たち市民は本当に恵まれた環境にいるということですね。私たち自身が一番そのことに気付いていないのかもしれない。ところで、市長さんは2000年を迎えるにあたって、どんなまちづくりを考えていますか。

市長 私は、2000年を特別な年として考えています。21世紀は来年からですが、2000年は、新世紀への幕開けの年であると思っています。小田原は今年が市制60周年にあたります。いよいよ小田原東西自由連絡通路も工事にかかります。市民の皆さんの長年の夢であった東と西の夢の架け橋への着工。これは、まさにミレニアムプロジェクト

くぼたなおこ
成人式運営委員 窪田尚子さん

座談会後の一言

「とっても緊張しましたが、楽しかったです。でも、思ったことを正しく伝えられたかな」



ほさかひでや
穂坂英山市議会議員

座談会後の一言

「若い世代が政治に関心を持つてくれることは素晴らしいこと。彼らの話を聞いて、こっちまで力がわいてきた」



新春座談会



と言えるのでは
ないでしょうか。バ
ブル崩壊から続く不況で、
経済的には確かに厳しいですが、
混沌としている今こそ「災い転じて
福となす」チャンスだと思っています。20
00年は、小田原にとって20歳の新成人とな
る年なのです。

地方の時代の到来

議長 最近、酒匂側を挟んで両方の地域
が連携して、まち全体が広がっているよう
な気がしています。これからは、さらに広
域的な見方も出てくるでしょう。地方分権
が進み、地方公共団体の権限が強化される
21世紀は、小田原のまちとしての在り方を
真剣に議論しなければならぬ時代だ、と
私たち市議会は考えます。今後、小田原

のために、市民の皆様の声をご
んどん提案をさせていただきた
いと思います。

市長 地方分権は、地方の時代
の幕開けです。さまざまな権限
が市町村に委譲されてきます。
しかし、同時に責任も背負うこ
とになります。私としては、地
方分権を小田原の新たな飛躍の
足がかりとすべく、全力で取り
組んでいきたいと思っています。

小田原は、北条の時代から5



00年もの歳月をかけて、今のようなまち
の形ができ上がりました。一見不自由なよ
うでも、実は理にかなったものも色々あり
ます。小田原にはたくさんのお金が
あるのです。それは場所であ
り、物であり、また人
もありません。この
財産を、どう引き
出していくのか
私の仕事。順番を問
違えてはいけません。
そのために、私は皆さん
の声を貪欲に聞いていきたく
と思っています。もちろん
市議会のご意見も、大切な声で
す。時には、市民の皆さんの中
も意見が別れることがあります。それは、
皆さんが「いいまちを作りたい」と思っ
てくれるからこそ。内から出てくるパワーが、
私には絶対必要なのです。

新時代で 一番大切になるもの、 それは「健康と教育」

議長 ここに集まってくれた新成人の皆さ
んのような若い方にも、どんな意見を言
ってもらいたいですね。それがよいまちづ
くりにつながっていきます。

秋沢 私は、今の教育について、不安を持
っています。

窪田 私も教育問題についてはとても興味
を持ってニュースなどを見えています。

市長 最近では、家族や親子も含めて、常
識では考えられないような事件が起きてい
ます。愛情とか絆といった、私たちが本当
に大切にしなければならぬものが欠けて
きているように思えてなりません。これは

もはや、学校教育だけの問題ではないの
です。

私は、2000年以降の新しいま
ちづくりの柱の一つを「健康と教育」
にしたいと考えています。健全な家
庭、明るい地域社会があつてはじめて
よいまちができる。そのためには、
体と心の健康が一番であると思うので
す。そして、子供たちはたくましく優しい
人間に育てていかなければなりません。「ま
ちづくりは人づくり」これからの時代に求め
られていくのは、まちが良くなる「人」である、
と私は思います。

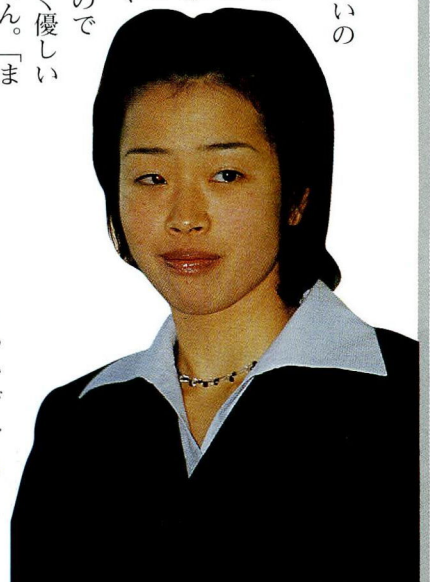
議長 教育は形にできないので本当に難し
いですね。しかし、大切なことです。市議
会としても正しい方向にまちづくりが展開
されるよう、一人でも多くの人の声に耳を傾
けていきたいと思っています。

最後にになりましたが、新成人の皆さん、
それぞれの目標に向けて、これから頑張っ
てください。

市長 成人になったということは、社会人
としての責任も持った、ということですよ。
選挙権を得たこともその一つ。これ
からは、「ごみを掃除した方がいい」
と言うのではなく、まず自分で拾
う。これが大きな違いです。

「どうしても、これがない」と
いう強烈な願望は、岩をも貫
きます。そう信じて人一倍の努力
をすれば何でもできます。私はそう
信じています。新成人の皆さん、21世紀に
向けて、一緒に頑張りましょう。

2000年を迎え、未来に向けた力強い座談
会になりました。まちづくりは人づくり。新
世紀に向けて走り出した小田原。
これからが楽しみです。



まつかけひろこ
成人式運営委員 松蔭寛子さん

座談会後の一言
「何か、新しい目標ができた感じがし
ました。でも、すぐくあがつちや
いました」



あきさわふみたか
ときめき国際学校OB 秋沢史隆さん

座談会後の一言
「社会人になって、もう一度責任を持っ
て話してみたいと思いました」

シリーズ ●報道解説

まちが試される

最近、都市にランキングがつけられている新聞記事や情報誌などを見かけたことはありませんか？

アンケートなどによって、生活環境、都市イメージ、行政サービスなどの分野ごとに順位をつけるというもので、「定年後に住みたい町ランキング」(日本経済新聞)、「住んでみたい町ベスト100」(月刊現代)などがあります。この2つのランキングで、小田原は全国で16位と24位にそれぞれ選ばれています。これらは、まさに私たちの国が地方の時代を迎えたあらわれであり、これからの行政サービスの在り方を問うヒントであると考えられます。戦後50年以上が経過した今、人々の意識は、まちに対する受け身の時代から暮らしに適したまちを自分で選択していく時代へと変化しています。もはや、地方行政は人々のニーズにどのように応えていくかを考える一種のサービス産業であり、以前のように国の統一的な施策を受け入れているだけでは生き残れないところまで来ているのです。これは、ある意味で社会が成熟したとも言えるでしょう。

なぜ、今、地方分権

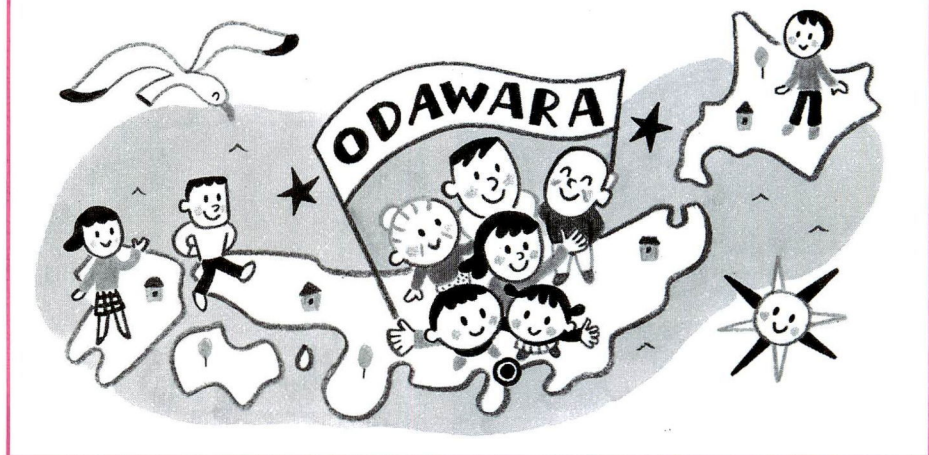
その結果、それぞれの地域が、歴史や文化、自然環境などを生かした個性あるまちづくりができるような制度を求めようになりました。これが地方分権型行政システム、いわゆる「地方分権」という考え方なのです。

平成5年6月に国会で行われた「地方分権推進に関する決議」をきっかけに、平成7年5月には「地方分権推進法」、平成11年7月には「地方分権一括法」が成立しました。この法律は、今年4月に施行されます。

では、地方分権が推進されると、どう変わるのでしょうか。大きく変わるのは、これまでの国と地方自治体の関係が「上下・主従」から、「対等・協力」関係に変

第三の改革 「地方分権」

西暦2000年というミレニアムを迎え、21世紀に向けて歩き出した日本は、今、大きな転換期に差しかかっている。戦後、私たちの共通の目標は、復興、あるいは高度経済成長の達成であった。その実現に向けて、国が中心となって地方を統括していく、いわゆる「中央集権型行政システム」を導入し、奇跡的ともいえる経済発展を遂げた。このシステムは、国が全国の都市に対して統一的な施策がとれ、ある意味で公平な援助ができることがメリット。しかし、反面、権限が国に偏るあまり、東京など首都圏への一極集中による地域間格差や、どこへ行ってもコンクリートの同じ街なみが続く顔のないまちを作り出してしまった、という弊害も生み出したのである。



わることです。具体的には、①地方自治体を国の出先機関とみなして事務を行わせ、指揮監督権は国が持つ、という機関委任事務の廃止②国から県、県から市町村への許認可や事前協議などを義務づける、いわゆる「関与」の見直し③住民に密接しているにも関わらず、国や県が行っていて非効率だった事務の市町村への「権限委譲」などがあげられています。

小田原が特例市に

また、地方分権の目玉の1つとして、人口20万人以上の市のうち、申し出によってある程度の事務をまとめて委譲する「特例市制度」も設けられます。全国で59市、県下で7市が該当しますが、小田原市は市議会12月定例会で特例市への移行準備を進めることを発表しました。特例市になると、都市計画に関する事務や、環境保全のための騒音や振動の規制、水質汚濁の防止に関する事務権限など15

の法律に関する事務が県から委譲されます。これによって自己決定権が拡大され、小田原が、個性あるまちづくりができるようになるのです。

人が羨むような魅力的なまちをつくるために

しかし、自己決定権が拡大すること、それだけ自分たちが負う責任も拡大するということです。これまで以上に、まちに何が必要で、何をすればよいのか、道を誤らないように市民の皆さんと市が一体となって考えて行動していく必要があります。景気も依然不透明な状況の中、本市も全力で行政改革に取り組んでいます。限りある財政力を有効に生かしながら、特色ある魅力的なまちをつくる。明治維新、戦後改革に次ぐ第三の改革といわれる地方分権制度を、21世紀へのさらなる飛躍に生かすため、「内から湧き出る小田原パワー」が試されるのです。

REPORT

放置自転車をなくすために！

駅の周りや周辺の商店街におびただしい数の自転車が並んでいる光景に出会ったことはありませんか。これらの自転車の多くは、放置自転車と呼ばれているものです。置き捨てられた物だけではありません。すぐに持ち主が移動できない迷惑自転車はみな放置自転車なのです。今回は、これら増え続ける放置自転車の実体に迫ってみようと思います

広報レポーター
村岡敬子さん

まことに試してみよう

今日は、あいにくの雨。自転車の姿はいつもよりは少なめでした。しかし、相変わらず、駅の周りや周辺の商店街の路上に乱雑に自転車が置かれています。とても見苦しく、まちなぎの雰囲気を台無しにしています。これでは、緊急事態が起こった場合、救急車や消防車などが通れないのではないのでしょうか。せつかく迅速に119番通報をしても、救急車が通れなければどうにもなりません。自転車が倒れ、けがをする人がでる恐れもあると思います。ちよつと、ひどいですね。

市内で特に放置自転車の目立って多いところは、小田原駅東口周辺だそうです。駅のロータリーよりも、錦通り、お堀端通りなどのある商店街に多く見受けられます。確かに買い物に出かけた時、道路を覆い尽くすほどの自転車が、道路にまではみ出して置かれている光景を何度も見かけたことがありました。

市では、放置自転車をなくすために、駐輪禁止の立て札を立てたり、放置されている自転車に、「注意・警

告・禁止」の札を取り付けているそうです。その指示に従わなかった自転車に対しては、条例により市の保管場所へ移動し、一定の期間を経て所有者が現れない場合、処分をしたり、リサイクルを行っています。しかし、実際には、放置自転車の数はなかなか減ってきていないのが実状なのです。

困り果てた商店街

放置自転車が後を絶たないという、ダイヤ街商店会では、以前から放置自転車には迷惑していました。商店街の場合、お客様のもの

と区別することが難しいのです。大型店や銀行などは、店のトラック搬入口が自転車でふさがれ、仕事にならないこともしばしば。そこで、ガードマンを雇い、自転車の整理を毎日行っています。

「協力を呼びかけたら、みんな喜んで協力してくれました」と話してくれたのは、ダイヤ街商店会会長の岡西さん。困り果てた商店会



は、市の職員と一緒に路上に置かれた自転車を並べ直したり、商店会独自の「注意の札」を作って取り付ける活動を始めたのです。「みんなで協力することが大切」、という合言葉のもと、商店会全体で放置自転車の追放を呼びかけています。

迷惑だけでは済まされない

おそらく、自転車を置いている人は、それほど悪気もなく置いている人が多いように思います。「自転車一台分ぐらい迷惑にならない」とか「皆が置いているから」などの安易な気持ちで路上に駐輪しているのが大部分なのではないでしょうか。

小田原の場合、ほとんどの駅に有料または無料の駐輪場が設けられているのですが、中には駐輪場があることを知らずに路上駐輪している方もいるようです。また、せつかく駐輪場に置いて、かなり乱雑な置き方をしていするために、機能しなくなっているところもあります。自転車は、環境に優しい乗り物です。どんどん活用されることはいいことです。しかし、自転車で買い物に行きたくても、駐輪する場所がなくては、せつかくの自転車が生かされません。駐輪場の問題は、商店街なども含めて、これから考えていかなければならない重要な問題なのではないでしょうか。

レポートを終え、放置自転車についての認識が、ちよつと変わりました。いままで「邪魔で迷惑な自転車」くらいにしか思っていたんですけど、放置自転車の問題はもっと深刻なものでした。単に迷惑では済まされないのです。それが、身に危険を及ぼし、また助かる命をも危険にさらす恐れもあります。私たちは、そのことを自覚し、モラルを持って放置自転車をまぢからなくすように、お互いに努めていかなければなりません。



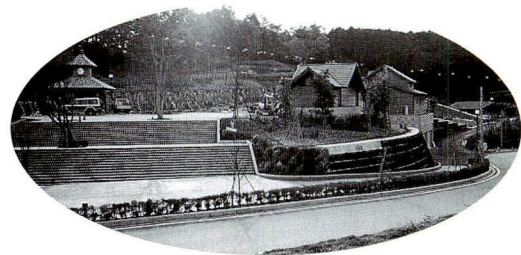
平成11年7月現在、市内の放置自転車の数は8,534台にも及びます。(バイク含む)



指きりげんまん。パパ・ママ連れていって。

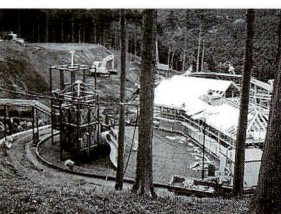
小田原こどもの森公園 わんぱくらんど

4月29日
オープン



子どもたちが集い緑の中を走り回り、笑顔と歓声が森にこだまする。
わんぱくらんどはそんなすてきな公園です。

問公園緑地課 ☎33-1583



いこいの森と辻村植物公園の間にできる子供たちの憩いの場「わんぱくらんど」。開園待ち遠しい今、自然環境と調和した

公園づくりが着々と進んでいます。その中で、国の新たな少子化対策事業の「少子化対策臨時特例交付金事業」により大型遊具の設置が決まりました。

公園のシンボルとなるこの遊具は、わんぱくらんどを一望でき、その素晴らしい眺めと森の空気を楽しめるような場所にあります。

ゴールデンウィークには、この遊具のてっぺんで大きく深呼吸する子供たちの姿をきっと見ることができるでしょう。

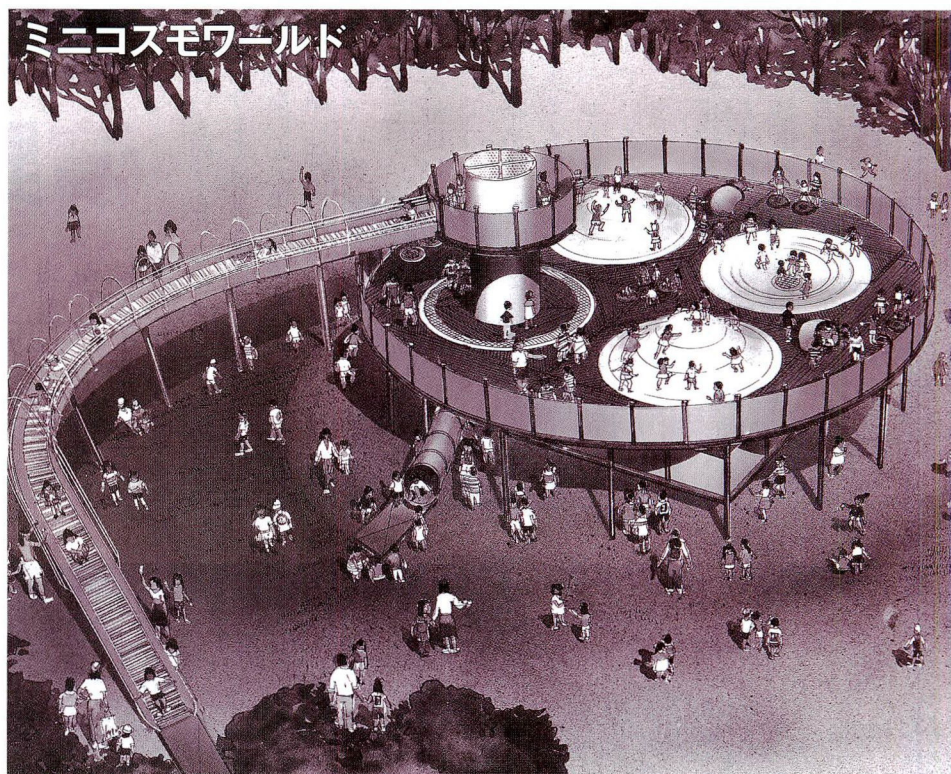
入選者決定 「鳥の巣箱」デザイン

小学生のみなさん。わんぱくらんどの「鳥の巣箱」のデザインに1408人もの多数のご応募ありがとうございました。

みなさんからいただいたアイデアは、工芸家や彫刻家が心を込めて製作し、わんぱくらんどに設置します。あなたの巣箱で育ったムクドリやキセキレイなどの鳥のさえずりが緑にこだまする日は近いでしょう。

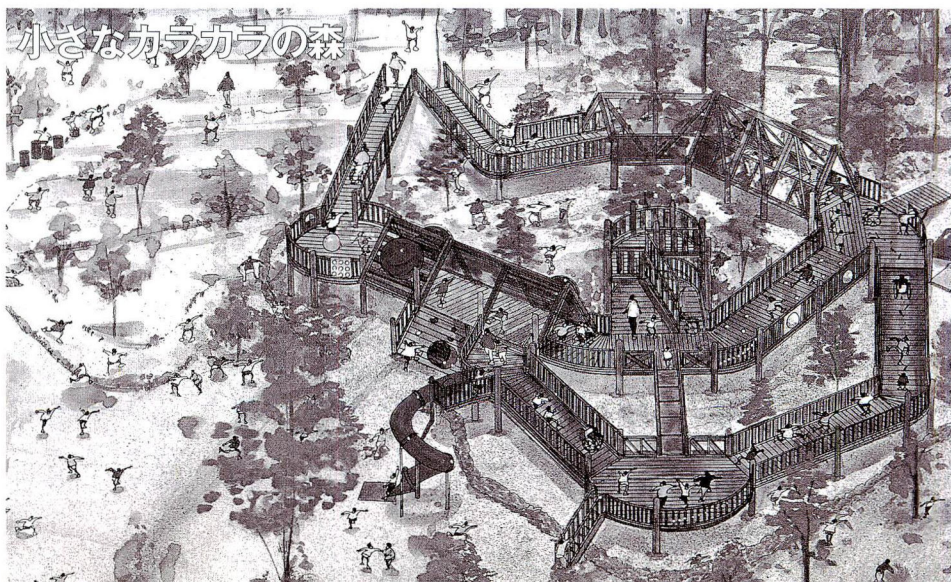
入賞者は次のとおりです。

本間英里さん(足柄・6年)・荻宮領太さん(山王・1年)・足立圭成さん(久野・3年)・瀬戸春菜さん(富士見・2年)・穂坂祥さん(下曾我・5年)・高原由依さん(富水・4年)・櫻井いづみさん(富水・4年)・山田祥子さん(下府中・6年)・柴畑勇太さん(足柄・3年)・平等久美子さん(前羽・4年)・柴田孝太郎さん(三の丸・3年)・岸岡美郷さん(町田・3年)(順不同)



▲「緑宇宙に遊ぶ」というテーマから、月面をイメージし「ミニコスモワールド」が生まれました。この遊具は、1階が宇宙基地、2階は月面のクレータをイメージしています。3階の展望デッキから一気に滑り落ちる高低差5.5メートル、長さ24メートルのローラースライダーは、緑の中にダイビングするような楽しさです。

▼子供からお年寄り、車椅子の方まで楽しめる「小さなカラカラの森」は、「五感で遊ぶ」というテーマで生まれました。冒険心をくすぐる探検が「ぼこぼこデッキ」など工夫を凝らした各種スロープで楽しめます。自然の中で鬼ごっこをしたり、散歩をしたり、時を忘れてしまうほどの楽しい体験をどうぞ。



労働大臣表彰受賞



現代の名工 はまのたかし 濱野高四さん(83歳)

70年目の修行中
自分で納得した作品は
まだないね

「シュッター」「シュッター」と軽快なリズムでカンナが動き、透き通るようなカンナくずがアーチを描く。静かな時間の中で、指先だけに別の空間があるような錯覚に陥る。ここは南町の濱野さんの仕事場。年齢からは想像もできないような見事な動きとやわらかい冬の陽が差す仕事場に光る美しい桐の木肌におもわずためいきが漏れる。

濱野さんは、高い技術を持つ現代の名工をたたえる労働省の「卓越した技能者」を昨年受賞。14歳からこの道に入り、箱根細工一筋70年の県内唯一の指物師である。「注文品以外は、材料を見て『何をつくるか』『何をつくりたいか』を決めるんだ。そ

みたいもの？もうこの歳じゃあだめだよ。結局今まで自分で納得できるような作品はまだないんだよ」と謙虚に笑うが、現在でも作品には常に新しいアイデアと技を盛り込んでいるとのこと。

「今年はいままでの作品を集めて個展でも開こうかと思ってるんだ」と。

20世紀を代表する職人は21世紀もさらに輝くだろう。



の気持ちやアイデアが木をじつとみると自然とわいてくるね」と。作品は茶道具・書箱・軸箱など「こころ」が「いのち」のものばかり。

「親から受け継いだこの職業も、息子が受け継いで3代目ということになるねえ。弟子はいままで4人。5年間一生懸命に仕込んだよ。でも、戦死したりしてみんななくなっちゃった。今の箱屋は道具をうまく使えないからねえ」と寂しそうにカンナを手にとった。「これからつくって



小田原城址の お堀完成

あれ！
こんな
だったっけ！

「おや！こんなところにお堀があったかなあ」「あれ！前は暗い小道だったのにこんなにきれいにいつ整備されたんだろう」「青少年会館はなくなっちゃったのね。でも春には桜がきれいよ」

常盤木橋を通ると突然視界がひらけ新鮮な眺めに、みなふと立ち止まる。幅最大20メートル、長さ約100メートルの盛り土とサツキの植栽が目をはひく。本丸東堀跡が整備されたのだ。

教育委員会は、国指定史跡小田原城跡の整備事業を進めている。平成9・10年度に二の丸遺構を調べるトレンチによる発掘調査が実施され、本丸東堀の理もれている場所が確認されたのである。この発掘調査や絵図をもとに、昨年11月に本丸東堀跡を表面表示した。これにより堀によって隔てられた本丸の山がひととき雄大に見えるようになった。

赤い欄干に寄りかかり「ここで写真を撮ろうよ」との声。

またひとつ絶好の記念撮影のポイントが小田原城址にできた。

ベールを脱いだ

魅力あふれるまちづくりに貢献

平成11年度小田原市民功労賞は

この方たちに



学術・文化・福祉・産業など市民生活のさまざまな分野において功績のあった方々に贈られます。表彰式は、1月10日に市民会館で行います。

市民交流課 33-1703

内田康春さん(成田)



酒匂川の鮎資源の確保などに尽力、年間10万人もの釣り客で賑わう「鮎の名所・酒匂川」の実現に大いに貢献され

ました。さらに、河川環境の維持保全にも積極的に取り組むなど、長年にわたりふるさとの母なる川の恵み豊かな流れを守り育ててこられました。

川久保信雄さん(国府津)



長年にわたり小田原市のみならず日本全国の菊花園芸の普及と栽培技術の向上に努めています。

また昭和45年から開催され、小田原の風物詩の一つにもなっている「小田原城菊花展」においても、開催当初から中心となって尽力されており、本市の観光振興に大いに貢献されています。

小宮智恵子(宗恵)さん(南町)



日本の伝統文化である茶道を通して、人々の心に潤いを与え続けています。また郷土の歴史を生かしたイベント

トとして平成2年から開催されている「石垣山大茶会」においては、常にその中心となって活躍、今では本市を代表するほどのイベントとなっています。

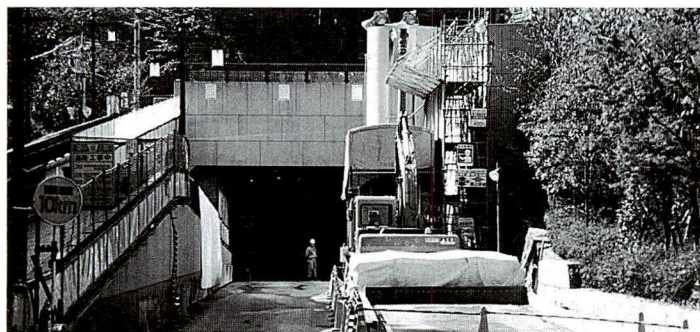
小田原市交通安全母の会連絡協議会

毎月2回の児童・生徒への街頭指導をはじめ、各種交通安全運動に積極的に取り組まれるなど、交通安全活動を通して市民が安心して暮らせるまちづくりに大いに貢献されています。

※なお、この賞は市民の方々の寄付金をもとに設置した小田原市ほう賞基金により運営しています。



城山トンネル に入ったゾ!



「工事中のトンネルって始めて見た!」皆が口をそろえて言った。

小田原駅西口から青橋方面に向かうと、青橋のちょうど左手に、大がかりな工事が行われている。誰もが待ち望んでいる都市計画道路小田原早川線の工事である。この道路は、完成すると小田原駅西口から青橋を通り、一直線に国道1号の早川口交差点まで到達する夢の道路なのだ。現在、県立城内高校のグラウンドの真下を通るトンネルの工事が行われている。

11月14日(日)、青橋付近には大きな人だかりができた。めったに見ることのできないトンネル工事見学会が開かれたのだ。トンネル工事はほとんどが山間部で行われるので、

通常は公開はされない。今回は街中での工事であることや、道路への関心が高く、公開を希望する声が多かったことから見学会が実現した。50人の定員に、350人も応募があったが、3班に分かれることで全員が見学できた。見学者は、熱心に関係者に質問をしていた。

このトンネルは、掘り抜く土がローム層でもろいため、鋼管を前方上部に打ち込みながら掘り進むAGF工法という特殊な技法が用いられている。まるで巨大なもぐらの穴のようなトンネルの中には、最新鋭の掘削機が配備してあった。

トンネルの全長は223メートルで、12月10日には、上半部の掘削を終え無事貫通した。平成12年度末の開通を目指す。

小田原駅周辺の渋滞緩和が期待されている城山トンネル。完成が待ち遠しい。

県小田原土木事務所 34-4141



トンネル内部には、歩道も完備される

われらが消防団

うらいやすお
浦井康雄さん
第4分団分団長(早川)



天を仰いだ 大火災

「緊急事態。〇〇地区にて火災発生」この一言で、一般人から消防団員に変身しなければならぬ。団員はそんないざという時のために、日々訓練に汗を流す。あなたの地域で万が一にでも、火災があつたら、それに立ち向かう地域の男たちの姿がある。それが消防団員だ。

特に本市は県内唯一の waterproof 管理団体に指定されていることから、毎年出水期前に酒匂川において水防工法の修得訓練を実施。さらに神奈川県西部地震発生に備え、地域の自主防災組織とも連携しながら訓練を行っているのだ。

小田原市消防団員は20歳代から60歳代まで、平均年齢は約36歳。自営業の人はかなり多くサラリーマンも多いが、残念ながら今のところ女性はいない。分団ごとに待機宿舎・小型動力ポンプ専用積載車・小型動力ポンプなどを持っている。

小田原市消防団は、昭和23年に結成以来、現在22分団・732人。火災・水害時の出動をはじめ、火災予防の啓発・自主防災訓練への参加と任務は重要。平成10年は火災68件をはじめ、延べ8,660人が出動した。「縁の下の力持ち」その言葉どおりにあなたの地域を守る消防団に今回はスポットを当ててみた。

「あの日には寒い寒い2月。湯河原の山火」

「昭和63年湯河原の山火事のことを考えると、今でも体が熱くなるよ」と早川地区の消防団員30人をとりまとめる分団長浦井さんが当時を振り返りながら語りだした。



延焼火災 分団による消火
昨年8月に開かれた早川地区総合防災訓練には、のべ930人が参加した。消防団はその訓練でも大活躍。

事が折からの強風にあおられて、真鶴から根府川へとやってきた。このままなら小田原の市街地まで間違いないとやってくる。とび口や鎌を持って、団員一同懸命に、火の進行を止めようと根府川の山の枯れ草を刈っていたんだ。とてつもの

い危機感に、あのときはやはり我を忘れた。気がつけば自分の周囲は煙だらけ、振り返れば火が後にまわっていて『にげろ』の声。あと少しでアウトさ。あまりにも火の勢いがすごいので、車に飛び乗り、一目散。白銀林道を駆つとんだね」

人も動物。火で血が騒ぐ

「もう覚悟したね。まちがやられるって。でもそのとき、信じられないことが起きたんだ。信じられるかい？ 『神風』ならぬ『神雨』だよ。どこからともなく雨雲がやってきて、ザーときたんだ。あんなにうれしい雨は生まれて初めてだったよ。みんな空を仰いで大はしゃぎさ。浦井さんの消防活動の中で一番の大火事だったという。

「人も動物なんだよ。火を見ると気持ちが高ぶるのさ。団員、皆が高ぶる。だから私は団のリーダーとして、団員の集中力・意気込みを高める役にまわるんだ。しかし、ときには必要以上に興奮状態にならないよう抑え役にまわることもある。冷静さも重要なんだ」さすがは消防団歴20年のベテランの言葉だ。

「やりがい？ 楽しいよ。世代を超えた近所の人と知り合えるし。ひと仕事終わったあとの団員同士の一体感はどうしてもうれしい。地域に根づいた消防団をつくっていきなさい」

インターネットホームページでも、消防団の紹介をしています。
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/b/inetcity/syoubou/index.html>



消防出初式 消防本部・消防署 ☎49-4410

日時 1月11日(火) 9:00~11:30
第1部 9:00~ 式典と表彰式(二の丸広場)
第2部 10:20~ 観閲・消防車両の分列行進・救助演技・一斉放水・まといの振り込み・はしご乗り・幼年消防クラブの演技(お堀端通り)
○9:30~12:00は、お堀端通りの一部が通行止めになります。
○7:00に市内全域で一斉にサイレンが鳴ります。火災と間違えないようご注意ください。
○雨天の場合は、10:00から式典と表彰式のみ三の丸小学校体育館で行います。

消防団員募集中!

いかがですか。ぜひ、あなたも消防団員として活動してみませんか。

消防総務課 ☎49-4415

バック・トゥ・ザ・20世紀

あなたが選ぶ小田原重大ニュース
貴重な思い出 ざっく ざく

私がこの城山に移り住んだのは10歳のときだった。小田原駅裏駅(当時の正式名は今もってはっきり知らないのだが、皆現在の西口を裏駅と呼んでいた)より7~8分のところに、我が家は位置していた。

地元の高校を卒業した私は、上野にあった大学まで小さな駅から2年間通学した。積木で造ったような駅舎とその周辺に変化が見え始めたのは新幹線開業に向けての工事が始まったころだ。

その後私は東京での下宿生活のため小田原の地を離れることになる。

東京での一人暮らしは物珍しくもあり、また寂しくもあり、たまに週末に小田原に戻る日は朝から心がワクワクしたものだ。頭の中には、小さな駅舎と家までの道筋がはっきりと記憶されているはずなのに…。帰って来る度に今まであった家はなくなり、何度も曲がったはずの道は直線になるなど目まぐるしく変貌していった。

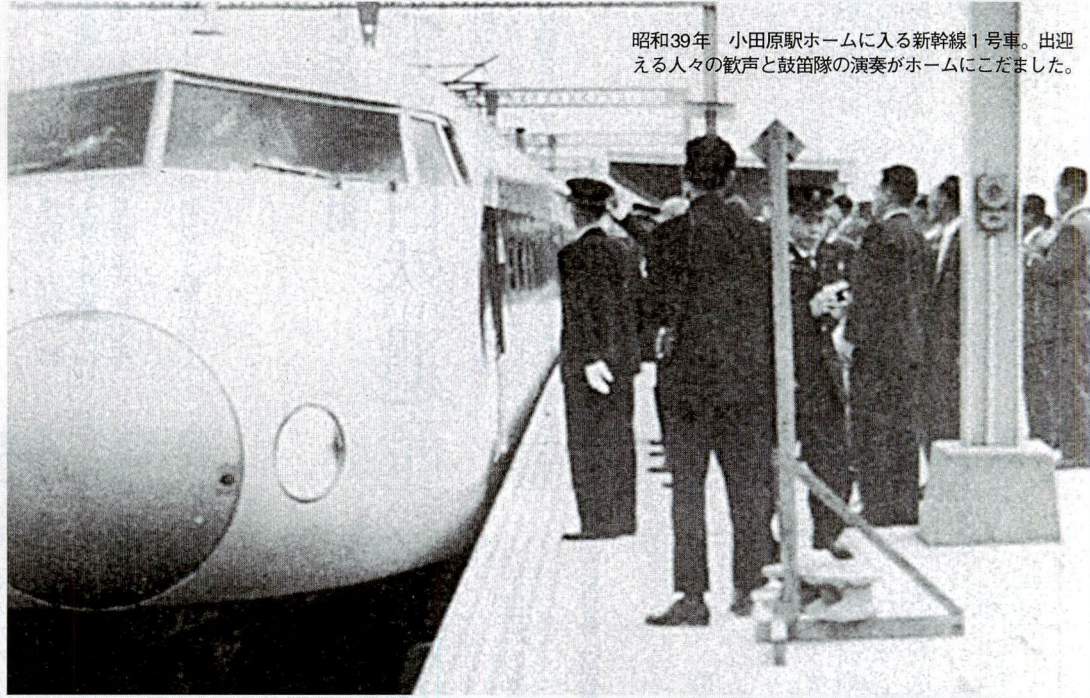
大学4年の秋、東京オリンピック開催を前についに新幹線が開通した。

裏駅は西口となり、新幹線停車駅としての風格を備えた新駅へと変身した。

自分自身が初めて新幹線に乗った日の記憶は全く残っていないのに、父が初めて新幹線に乗った日のことは今でもはっきり思い出すことができる。



取り壊される直前の小田原駅裏駅(昭和30年代)



昭和39年 小田原駅ホームに入る新幹線1号車。出迎える人々の歓声と鼓笛隊の演奏がホームにこだました。

駅舎の変身と新幹線

千葉陽子さん(城山)

い母に、鳥羽・伊勢方面への旅行をプレゼントしようと計画した。乗物はもちろん新幹線。

旅行前日は台風の影響で大荒れの天気だったが、当日の朝はからりと晴れ上がり私をほっとさせた。

新幹線はダイヤの乱れで小田原駅に長らく停車した。少々緊張気味の表情の父、遠足に出かける前の小学生のように楽しげな母。車内に乗り込みゆっくりおしゃべりしながら見送れたのは新幹線の粋なはからいだったかもしれない。

二人の旅行はその後も続けられ新幹線はすっかり旅の友となった。今、小田原駅東西自由連絡通路の工事が始まろうとしている。また、駅はどんな変身をするのか。今から楽しみにしている。

私の「小田原の思い出」はいつも駅の変貌とオーバーラップしている。

今後もみなさんからの小田原の20世紀の思い出を紹介していきます。どうぞお楽しみに。

問 広報広聴室 ☎33-1261



黒田泰蔵の白磁展
とき 1月5日(水) - 24日(月)
ところ うつわ・菜の花

泰蔵さんの白磁は、余分なものをとりのぞきながら進んでいく。薄く、薄く伸びやかに、緊張感を孕みながらも、天空に舞うようにしなやかに、形になる不思議。その造形のすごさは、数千年、みわたしても、泰蔵さんをおいて他にはないと僕は思う。うつわ・菜の花 高橋台一
うつわ・菜の花 ☎24-7020 OPEN 11:00AM~6:00PM 水曜定休



中小企業で働く皆様の強い見方 スマイル共済会

こんな特典が

★**会費が安い**(1人月額800円)

従業員の負担分は1人月額4000円以下です。無理なく入会できます。

★**入会の年齢制限がない**

ご家族で経営している事業所など年配の方が多く加入しています。

★**給付内容が豊富**

会員の結婚・成人・出産、還暦・古稀・銀婚、永年勤続、お子さまの入学・卒業といった祝い金はもちろん傷病見舞金や死亡弔慰金も給付します。

福利厚生面では宿泊旅行の助成や協定して

小田原市勤労者共済会(愛称)「スマイル共済会」では、従業員・事業主の皆様の福利厚生を目的に、1人月額800円(事業主が半額以上負担)の会費で、さまざまな給付や有利な助成が受けられる事業を行っています。

いる宿泊施設・厚生施設を特別料金で利用できます。親睦旅行・忘年会などに利用いただき会員にも好評です。

さらに市内の指定小売店で特別価格にて物品を購入できる制度、健康管理に欠かせない「人間ドック」の受診に対する助成など、従業員のやる気をバックアップし、事業主と従業員の「イイ関係」づくりをお手伝いします。

★**コンサート・観劇などチケットの助成**
今年度は歌舞伎やサーカス、小椋佳、天童よしみ、小田原室内合奏団などのチケット助成など大好評です。

★**小田原市がバックアップ**

共済会事務局の件数や印刷・通信費などの経費を市の補助金で賄っていますので、会費はそのまま皆様に還元できます。

★**給付金をお手元に直接お届け**

申請された給付や助成をタイムリーに皆様にお渡しします。

★**融資事業**

冠婚葬祭・医療、出産・学習の費用、耐久消費財の購入などのため低利で生活資金の融資が受けられます。

いかがですか。興味を持たれた事業主の方に詳しい事業内容を直接説明させていただきますので、まずはお電話かファックスで。

●**スマイル共済会事務局(市役所地域づくり課)**

☎33-1852 FAX33-1286

ふるさとの文化財

残そう自然遺産 子々孫々へ

小田原は自然遺産に恵まれています。

2000年という新しい時代を迎えましたが、この小田原の財産を永遠に受け継ぎ、子や孫までもに残したいものです。

日本自然保護協会 自然観察指導員 常盤 博(城山)

小田原の自然遺産

相模湾に面した小田原は四季を通じて、温暖な気候に恵まれ雨量も多く、生き物の生育には大変適した地域です。植物地理分布の上からは、暖温帯に属します。人の住む以前は海岸線から平野部はタブ・スタシイ、酒匂川を挟んで内陸部・丘陵域はカシ・ヤブツバキなど、つやのある常緑広葉樹の木々に覆われていたと想像されています。

小田原は遠く縄文・弥生時代より人の生活が始まり自然植生地は切り開かれ、平野部は水田・住宅・市街地となっています。また、山地丘陵域の多くはスギ・ヒノキといった二次林や、ミカン・ウメ畑を主とする農耕地として活用されています。現在は人が住みつく以前の常緑広葉樹の自然林は、ほとんど見られないのが現状です。

しかし、幸いなことに山地・丘陵斜面や社寺の裏山や城跡公園などに一部に、かつての貴

重な遺存種や常緑広葉樹の自然植生の痕跡が見られます。これらは植物分布の研究対象として評価も高く、関東地方での小田原の誇りうる自然遺産の一つとなっています。

また、市内には古くより人の住みつきにあわせ外国をはじめ、各所から持ち込まれた植物も多く、小田原の自然になじんで生育しています。身近なイチヨウ・モクセイなどもその例で、中国原産の樹木です。大気汚染にも強く、先人により市内各所に植えられたものが巨木に成長、小田原の自然遺産となり、天然記念物として指定されているものもみられます。

小田原の天然記念物

●天然記念物さまざま

現在、小田原の自然遺産(自然物)の中で国指定の天然記念物1種類、神奈川県指定のもの3種類、小田原市指定のもの26種類があります。いずれも植物関係のものです。

会費800円で充実の給付内容

スマイル共済会

会員募集中

市内に主たる事業所がある従業員300人以下の事業所で働く従業員と事業主

小田原市勤労者共済会(小田原市役所地域づくり課労政担当内)

☎33-1852 FAX33-1286

給付事業

- 祝金(結婚・入学・成人・還暦・古稀・銀婚・永年勤続など)
- 傷病見舞金
- 重度障害・障害見舞金
- 住宅災害見舞金
- 死亡弔慰金

●お問い合わせ

福利厚生事業

- 人間ドック受診助成金
- 宿泊旅行助成金
- チケット助成
- 協定厚生施設利用(映画館・テニス・乗馬クラブなど)
- 特別割引指定店等

(広告)

市指定のもの
紀伊神社の社叢



◆国指定 常緑広葉樹叢 紀伊神社(早川)の社叢/近戸神社(前川)の社叢

◆県指定 巨木で特色ある樹木 総生寺のカヤ(久野)/城跡本丸の巨松(城内)/カゴノキ(入生田)/真福寺のタブ・イトヒバ(早川)/須賀神社のクスノキ(菅我)/菅原神社のムクノキ(国府津)/広濟寺のカキ(中村原)など

◆芳香、花木の多くが指定 長興山の枝垂桜(入生田)/宝泉寺のキンモクセイ(風祭)/御感の藤(城内)/高長寺のハクモクレン(城山)/康岳寺のタイサンボク(菅我大沢)など

特にビランジュは、箱根ターンパイクの入口近く、石垣山の山腹北側急斜面に生えています。樹皮は灰褐色で、うろこ状に自然にはがれ、紅黄色の独特な色彩になるので、別名をハダカノキ、ビランなども呼ばれています。小田原での分布は北限で、大正時代に天然記念物に指定されました。

注目の勝福寺境内の県内最大級、樹齢700年と推定される雄株の大イチヨウは県指定です。

天然記念物

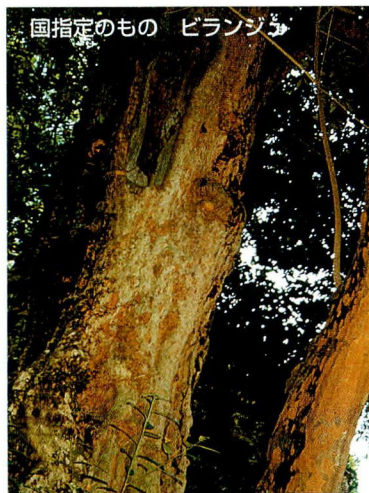
- 国指定 ビランジュ(早川)
- 県指定 県立小田原高校樹叢(城山)/勝福寺・八幡神社樹叢(飯泉)
- 小田原市指定 指定年度も昭和40年代以降が多く、自然環境保全熱の高まる時期と重なっています。指定された天然記念物はより地域的で身近なものです。



県指定のもの 勝福寺大イチヨウ

「かながわの美林50選」・「かながわの名木100選」シリーズ

神奈川県では、県民に親しまれ守られてきた県内の美しい自然の森や林を50か所選んでいます。また、同様に県内各地に存在する樹木のなかより姿のすぐれた名木・巨木、希少価値、由緒ある樹木など100本選んでいます。選ばれた美林や名木にふれられ、県民の皆さんがみどり豊かな「ふるさと神奈川」への郷土愛を深めていただくよう呼びかけています。



国指定のもの ビランジュ



美林50選 久野のスギ・ヒノキ林

名木100選 長興山の枝垂桜

市内での「美林50選」では「文化・学術など貴重な森林」として「長興山鉄牛和尚塔周辺の森(入生田)」「林業上模範となる森林」として「久野のスギ・ヒノキ林」。

市内での「名木100選」では上記天然記念物のビランジュ・大イチヨウ・巨松・御感の藤・カヤ・カゴノキ・枝垂桜のほかホルトノキ(城山)・光照寺のヒイラギ(鴨宮)・上輩寺の乳イチヨウ(酒匂)が選ばれています。

なお、名木100選には横浜市内11本、次いで小田原市内10本が選ばれています。面積比率では小田原が高く、自然遺産に恵まれていることの一つの証しといえます。

自然遺産の宝庫「社寺林」を見直そう

早川・久野丘陵、千代台地など古くから開かれた古道沿いを歩いてみてください。この時期は冬枯れの景色として、緑濃い常緑樹叢がひととき目立ちます。そこには古くからの神社や寺があり、周囲の巨木や樹叢に天然記念物や選定シリーズの名木、美林として標識・案内などが目に入ります。

社寺林はその地域の自然植生を示すと同時に自然遺産で、その地に生活する人々の暮らしにかかわっています。聖域として保護したり、自然と神仏への信仰をうかがい知ることができます。

自然が急激に変貌するなか、私たちは先人のこの思いを受け継ぎ、子々孫々に伝え、小田原の自然遺産を永遠に残したいものです。

「天然記念物」とは

文化財のなかでも「天然記念物」は、動植物及び地質・鉱物の分野で学術的価値に優れ、わが国(地域)の自然を記念するもので、その保存と活用が人々の文化向上に資する自然物」とされています。

国や郷土の自然を後世に伝えようとするもので、その扱いは文化財保護法(国指定)や地方自治体では文化財保護条例(県市指定)などにより「天然記念物」として指定しています。そして保存のための管理と市民への公開などが図られています。

Odawara Driving School

大型車実登校日は11日間で卒業可(学科なし)
けん引実登校日は7日間で卒業可(学科なし)
普通車も場内2時限、路上3時限乗れます。

教習科目
大型・けん引・普通・普通自動二輪

〈ローン制度あり〉
● 榎田駅より徒歩5分
● スクールバスあり
● 駐車場あり

神奈川県公安委員会指定
小田原ドライビングスクール
蓮正寺540-2 TEL (36) 1215~7

※可松坂屋の
県指定銘菓 **コケッコ**

やめられない
お菓子たち
Vol.6

見た目も中身もたまごです

初代店主の新しい創作菓子として83年前に誕生。全国の珍菓10点にも選ばれています。鶏卵を主材に鷹瑞(マシヨマロ)と黄身餡仕立て。お年賀や成人式の肉祝いに最適なおめでたいお菓子です。1個130円。5個入り740円〜。

栄町本店/栄町1の16の46
TEL.22・3020 第3水曜定休
アミーおだちか店もあり

私の国のお正月

ふるさと
故国・よいとこ・お国自慢

2000年1月1日、この記念すべき年の訪れに世界中の人が特別な思いをもって新年を祝っています。私たちの身近には母国を離れ、小田原で新年を迎えた在住外国人の皆さんもたくさんいます。ところで、在住外国人の皆さんのお正月をどのように祝うのでしょうか。故国のお正月と料理を紹介してもらいました。

市民交流課 ☎331707



ペルー共和国

ジョージ・エダさん

モニカ・エダさん(下曾我)

「ペルーのお正月はすごいよ。なんたつて、仕事は1か月、学校は3月までお休みだから。大人も子供も盛り上がりっぱなしさ」ジョージさんの瞳が子供のように輝く。
ペルーでは新年を迎える前夜から家族や友達が集まって昔からのしきたりどおりに正月を迎えるという。



パパ・ア・ラ・ワンカイナを差し出しにっこのエダさん。クラッカー・チーズ・ニンニク・イエローペッパー・オイル・ミルクで作った特製ソースをゆでたジャガイモにかけたもの。未体験の味でもうやみつき。

「まずは、洋服や家具など古くなくなったものを庭で燃やして、その火を囲む。いらなくなったものは燃やさないし新しいものが手に入らないという言い伝えがあるんだ」と。
午前0時、いよいよ新年を迎える。テーブルの中央にぶどうを置き、皆で向かい合う。そして順番に一粒ずつ手でつまみ、それを食べる。
「願い事や夢をそれに託す。でも、絶対にその内容を人に話さないこと。人が知ると願い事が叶わないのです。大切な夢はぶどうの口に含まながらテーブルの下に皿に種と皮をそっと入れお願ひします。でも、一粒につき1つのお願ひ事だけです。欲張ってはダメ」モニカさんは笑う。また、行つてみたい国のことを思いながら、空のポストンバックを抱えて家の周りを歩くと、海外旅行の夢が叶うのだとか。

「部屋に戻ったらパーティーの始まりです。テーブルの上には、あふれるばかりの料理。特に七面鳥とシャンパンは、欠かせないね。料理が多ければ多いほど、1年間ごちそうにありつけるんだ」とジョージさん。
「後は、騒いで、歌って、踊って、まち全体で新年を祝うのさ。クリスマスは子供と家族、正月は大人・若者のイベントとして狂ったように盛り上がるのがペルーの正月」さすがはラテンの国ペルー。祝い方も情熱的だ。

カンボジア王国

上原富男さん

シムロットタさん

シムキムカロナさん(国府津)

「カンボジアのお正月は4月14日から16日の3日間。正月前は大掃除」大掃除は世界共通のイベントのようだ。
14日には、親族の中の長老の家に集まり、くだものやジュース、花などを仏様にお供えする。そしてそれをお寺に持って行く。「お坊さんが食べる」と、その体を通してご先祖様にごちそうが届くといった言い伝えがあるのです」と富男さん。仏教徒の多いカンボジアならではの風習だ。

15日には、砂で小さな山をつくり、線香を立て、新年の願ひ事をするという。
「この3日間はほとんど寝ないで、踊り歌います。この日ばかりは、若者や子供も自由な雰囲気の中で夜通し遊び回ります」と。



正月の衣装と料理で温かいもてなし。故国のお友達も平塚から駆けつけた。食卓にはカンボジア料理が並ぶ。鶏肉のサラダ・鯛の焼き魚しょうが豚肉炒めがけ・牛肉の串焼き・カンボジアカレー・酢の物はみなすこぶる美味。

「女性は美しく着飾ります。自分の個性をアピールするため、すべて手織りのものを注文するのです。そう、『鶴の恩返し』に出てくるような機織りで織るのです。ですから、大変高価なんです」すこし恥ずかしそうに、自分の衣装を指さすシムキムカロナさん。しかし、男性は普段着のまま。カンボジアの男が正装するのは、結婚式の時だけなのだ。「日本のお正月は不思議だ。家の中だけで祝うので、いつもはあんなに交通渋滞で騒がしい道路が、がらんとする。なぜ、おめでたいことなのに、まち全体でお祝ひしないのかな」と富男さん。日本の正月は、世界の中ではおとなしい過ごし方かもしれない。

地球市民フェスタ

2月6日(日) マロニエ

世界の文化にふれよう。各国自慢料理を味わおう。

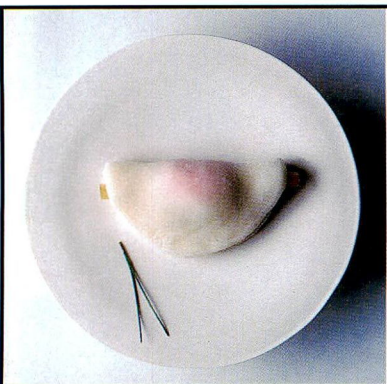
菜の花・和菓子 歳時記

1月 花びら餅

京都の川端道喜さんの所でつくりはじめて全国に広がったお菓車で、お正月にはかかせないものになっています。宮中が応仁の乱後疲弊して、お菓子がだせなため、お餅の中はお味噌とゴボウでお菓みにみたえたものです。モダンで中々のアイデアですね。先代の道喜さんはなかなかの遊び人で素敵な人でした。

菜の花店主 高橋台一

和菓子・菜の花 小田原駅前お城通り ☎23-1567 OPEN 10:00AM~6:00PM



広告

ライバルは自分の記録

静まり返ったスタンド、ゴールは遠い。目の前に立ちはだかるハードル。そして一列に並んだ選手たちの心臓の鼓動が一つになった。この瞬間がたまらない。

「僕は、本番を楽しんで走るタイプなんです。あの時も、さほど緊張はしませんでした」。あどけない笑顔が残る18歳の好青年、西さんが言った。あの時とは、10月に行われたアジアジュニア陸上選手権のこと。平成11年は飛躍の年だった。全国高校総体で準優勝、日本ジュニア選手権でみごと優勝を果たし、日本代表として臨んだ初の海外遠征で4位に入賞したのだ。

もともと中距離ランナーだった彼は、山北高校に入学すると、3000メートルハードルに打ち込んでいる2つ年上の先輩に出会った。そし

て、この種目の魅力にひかれていった。ハードル競技は、スピードに加えバネも要求されるため、平均距離12キロメートルのジョギングのほか、瞬発力を養うトレーニングなどを毎日行っている。「3月で高校を卒業するので、その後は大学で自分を磨きたい」という彼。「ライバルは？」との問いには「自分の記録です」と答えた。他人を気にするのではなく、いつも自分の記録にこだわっていききたいのだという。陸上部の顧問である木村先生は、「素質的には十分に日本のトップをねらえる。今の自分に満足せず、さらに高い目標を目指して頑張ってください」と激励する。少し、グラウンドを離れてみた。鈴木あみ(歌手)の大ファンという西さんは、「今は、高校の友達との残り少ない最後の時間を大切にしたい」と照れながら話してくれた。いつのまにか、日本代表の顔から、普通の高校生の顔に戻っていた。最高の笑顔だった。彼の限りなき未来に、エールを送りたい。



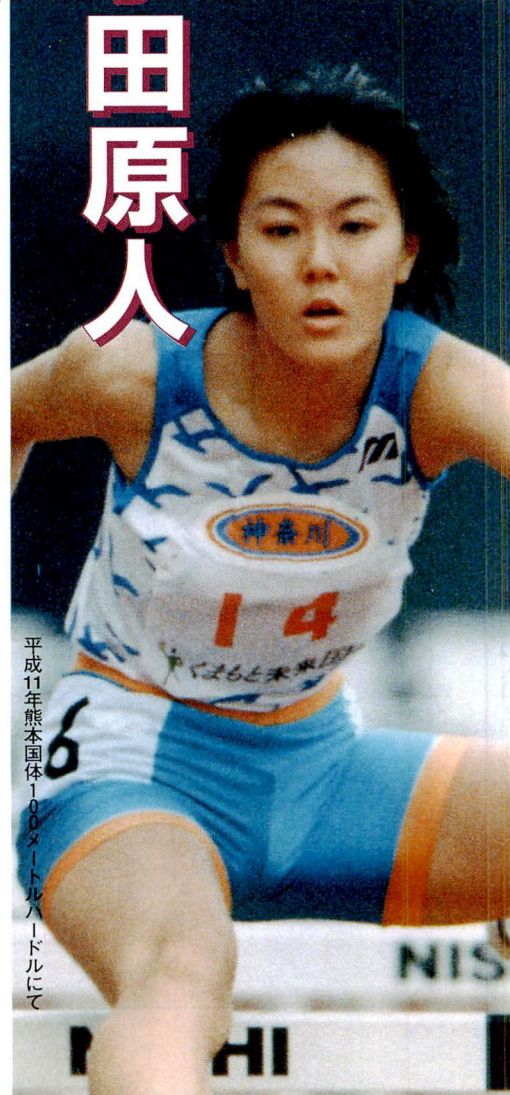
平成11年8月の全国高校総体準優勝の表彰式

輝く小田原人

有言実行!「13秒95」

「インターハイの悔しさが、今でも忘れられません」と、鷺頭さんが言った。

中学校時代、今なお塗り替えられることのない県中学新記録をうち立て、注目を一身に集めた日本陸上界の期待の星。「彼女のレースへの集中力はものすごい」と周囲も絶賛。ここから、彼女の記録への挑戦が始まった。高校3年となった今、そのスピードは皆を驚愕させている。超高校級スプリンター鷺頭さんと100メートルハードルとの出会いは、あまりにもあつけない。小学校でサッカーをやっていた彼女は、中学に入學すると、陸上部に入部。ハードルをやってみたら、他の人よりも速く走れたので、この種目に決めた、という単純なものであった。「ハードルはバランスが大事なんですよ。でも、練習は特別なことはしていません。ほとんど走っているだけ。走って走って、そしてまた走るんです」高校に入ってから間もないころは、チームメイトに同級生がいなくて孤独感を感じたが、今は友達も大勢でき、楽しいこと



平成11年熊本国体100メートルハードルにて

ばかりの毎日であるという。そんな彼女がとても悔しい思いをした。それは、昨年の夏のインターハイでのこと。この時、彼女は波に乗っていた。周囲には県高校新記録の更新を宣言し、勝ちにいった大会で、彼女はまさかの敗退をしたのである。「この時のことは、今でも忘れられません」気さくな明るい性格の彼女が、この話になると体全体で悔しさを表現した。本当に悔しそうだ。大会後は、勝ち負けに固執せず、つねに自分の目標タイムを決め、気楽に走るように心がけているそうだ。そして、10月に行われた熊本国体では、準優勝に輝くとともに、ついに13秒95の県高校新記録を記録した。ゴール後の彼女の喜び方は、スタンドから笑いがこぼれるほどのしやぎようだったと伝えられている。「後輩で有望な子がいるんです。3月までの私の残りの時間で、全てを伝えてあげたい」と話す鷺頭さんは、3月の高校卒業後は舞台を大学に移して、更なる飛躍を目指す。その輝く瞳の奥には、今からインターハイが写っているようだった。

心におみやげ、
見つけて小田原。



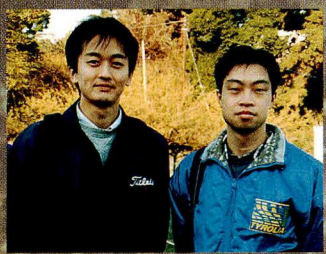
全国から小田原ファンぞくぞく!

第1回 城下町おだわら ツデーマーチ完結

11月20・21日、小田原での記念すべき第1回ツデーマーチが行われ、全国から6,000人も参加者が、城下町おだわらを満喫しました。
1日目は、辻村植物公園をはじめ長興山のしだれ桜や早雲寺などをめぐる、山あいの「太閤・一夜城コース」2日目は、酒匂川沿いに富士山をのぞみながら、南足柄方面まで続くパノラマ「尊徳・富士見コース」両日ともお天気を味方につけ、ポカポカ陽気の絶好のコンディションでした。



▲勝福寺(飯泉観音)の色づいたちょうの前で、ちょっと一服。



会社の友人と2人で参加しました。普段は駅まで歩くくらいです(相模原市・鎌倉市在住)

▼「富士の湧き水をどうぞ」所懸念に参加者に差し出していた富士休憩所のボランティアの方。参加者は「うまい、うまい」と一気に飲みすると再びコースに戻っていった。



一度歩いたらやめられない!
昨年参加できなかったあなた、
今年こそはお忘れなく!

第2回ツデーマーチは
11月18日(土)・19日(日)に実施



自称「木枯らし紋次郎」
いつもこの格好で歩くんですよ。
歩き始めて18年になります。今日は農業祭りなどのイベントも楽しみにしてきました。

1500キロメートル完歩!
昨日も今日も朝1番乗り。楽しみでね。
毎週休みになると朝2時に茅ヶ崎の家を出て芦ノ湖まで歩いているんだ。10時には着くかな。それからまた家まで歩くのさ。体がうずくんだよ。歩くのは最高だね。



発行 ● 小田原市 小田原市荻窪300番地 ☎0550・8888